

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人善永学園
光輪幼稚園

1. 本園の教育目標

感謝と思いやりを育てる教育（まことの保育）

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

自然・素材・身体を使った多様な遊びを通じ、子ども自身が主体的に考え、楽しむ力を育む
安心安全な保育環境づくり

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
園の教育理念 (まことの保育)	A	園の教育理念を理解し、教育方針にも自分の明確な教育観をもって行うことができた。
教育課程	A	幼児教育要領および園の教育方針「感謝と思いやりを育てる教育」を理解し実践することができた。
指導計画	A	園の教育理念を踏まえた上で指導計画を立てた。 日々の保育の記録を取り反省や検討をし、次の指導計画にいかすことができた。
環境構成	A	園舎工事中に伴い、保育室の環境等いつもとは違った中でも安全で清潔な環境づくりができるよう工夫をして整えた。園児の移動や自由遊び中にも事故がないように細心の注意を払い、園児の安全を第一にバスの職員による見守り等も増やした。
幼児理解	A	1人1人の幼児の様子を観察、理解し、特別支援教育など特殊な発達段階についても理解し、寄り添うよう努めた。
健康安全面	A	登園時に子どもたちひとりひとりの視診を徹底し、家庭との連絡をするなど体調面の配慮に努めた。
保育態度	A	幼児と同じ目線にたってもものを見つめ、幼児の思いに寄り添うことに努めた。幼児が自発的に活動できるような言葉かけや働きかけに努めた。個性や性格、年齢や発達差に応じた関わり方にも注視した。
学級経営	A	学級のことについても、担任以外の教職員とも情報交換できる環境づくりを行った。教室の環境構成についても、日常的に点検し安全な保育環境を維持できた。
研修研究	A	定期的に保育研修会に参加し、教員間で研究発表を実施した。 自発的に外部の研修に参加する職員もみられた。
資質向上	B	仕事の手順を考え、能率良く働くことに努めた。まだまだ効率的に行なえることが改善されていないので引き続き努力していきたい。

保育管理	A	日々の保育や行事等の流れを考え、時間管理に努めた。
保護者との関係性	A	子どもの様子を正確に伝え、子育ての不安を理解し、子育て相談にも応じることができた。学年だよりや連絡を通して、子どもたちの様子を知らせることができた。
地域との関わり	B	幼小の連携や相互訪問など進学先の小学校と連携を密にとることができた。保育中の地域との関り等、今後考えていきたい。
教員間の関わり	A	預かり保育の時間が延長し、職員の働き方やシフトにも変更があり全体で話せる時間が少なくなったことへの対応がまだできていない部分もみられるが、大切な情報の共有をスムーズにできるように努めていきたい。
生活態度	A	いつも感謝の気持ちを忘れないように努めた。
向上心	A	職員同志、高め合えていけるような環境作りができるよう、各自目標を持っていきたい。
情報活用	A	インターネット等を利用し様々な情報を収集した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

- ・全職員が自己評価に取り組むことにより、自らの保育を振り返り様々な課題が見えてきた。その課題を踏まえ、よりよい保育ができるように努力することを共通理解した。

5. 今後取り組む課題

1. 安心安全な保育環境づくり

引き続き工事終了まで、安全第一に日々を送れるように、職員一同細心の注意を払って行動する。

主体的・体験的な遊びを充実させるほど、ケガや事故のリスクが増す面がある。「安全」と「豊かな体験」のバランスが難しい

2. 教職員の連携により保育の質を高める

共働き家庭が増え、参加型行事にも工夫を必要とし、行事への理解・協力が得られない活動にならないように内容を精査する必要がある

6. 学校関係者の評価

今年度は「豊かな遊びと体験」を大切にした保育が随所に感じられ、子どもが主体的に楽しむ姿が多く見られました。園舎改修工事中の中での保育活動に考慮いただき、子どもが帰宅後に話してくれる経験がとても豊かでした。保護者への情報発信も丁寧で、園全体の温かさを感じた一年でした。